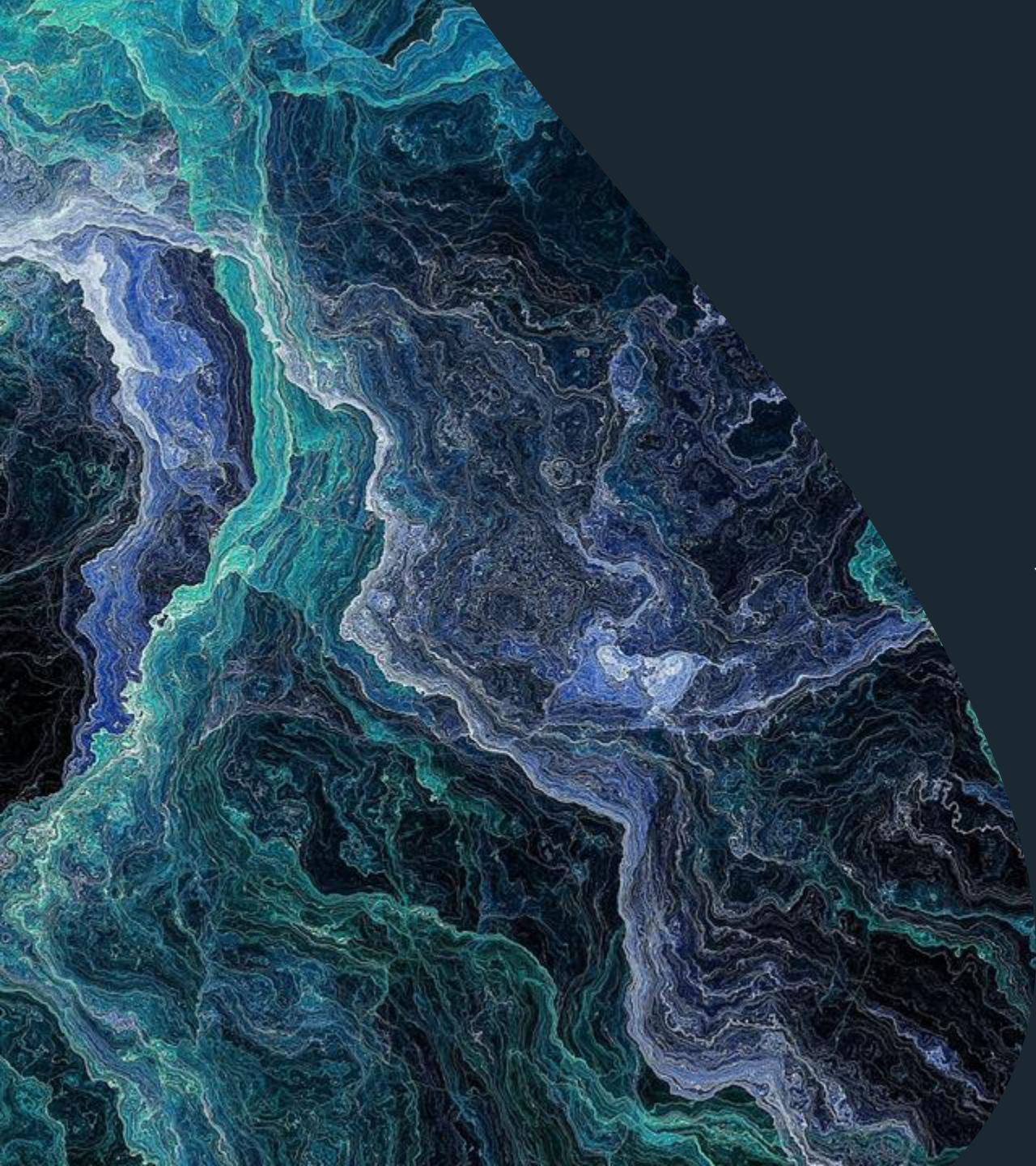




Climate Lab X

イノベーションによってネットゼロを実現するために！



PDIE

Purpose Driven Innovation





Why

人類はこれまで、地球の資源を使い尽くしながら便利な文明を築いてきました。その過程で、自然を破壊し、生態系を壊し、大量の温室効果ガスを排出してきました。これからは、ものを生産し、消費する方法を見直す必要があります。特に企業は、新しい経済のしくみを構築する上で中心的な役割を果たすべきです。そのためには、大きな変革をもたらすイノベーションが必要とされています。

What

Climate Lab X は、企業内起業の育成を支援するプログラムです。このプログラムでは、気候変動や生物多様性の危機について学び、企業の環境対策を進めるためのアイデアを生み出します。参加者は、気候変動や生態系の現状、ESG（環境・社会・ガバナンス）、炭素会計、ネットゼロ戦略などについて学び、ビジネスをより環境に配慮した形へと変えるための具体的なスキルを身につけます。



How

PDIEグループと京大オリジナルは、プログラムを導く専門家、科学者、起業家を厳選しています。本プログラムの構成は、下記の様な特徴があります。

- 京都大学の教授達による気候変動や生物多様性、環境問題などに関する講義
- 世界的な環境大賞であるEarthShot Prizeの受賞者や最終審査に残ったファイナリスト達の事例やソリューションの紹介
- 専門家から得た知識をもとにグループワークやリサーチを行い発表資料をまとめる

プログラム最終日にはグループ毎のプレゼンと審査を行います。参加者の上司や関連部署の役員なども発表を聞きます。

For whom?

理想的なターゲットグループは、以下の部門の若手から中間管理職までのオープンマインドを持ったリーダーです。

- サステナビリティ/CSR
- 研究・開発
- イノベーション推進
- マーケティング/セールス
- 財務および調達

Climate Lab Xの特徴：

気候変動問題を解決するために環境プロジェクトを具体化し、ビジネス構築及びブランディング、IRなどの実利に繋がる「産学連携」による日本有数の環境イントラプレナー育成講座である



得られる効果と価値

- イノベーションを起こす文化を醸成
- グリーントランスフォーメーションに必要なプロセスと、それを企業環境で活用する方法について学ぶ
- 気候変動とその原因と影響、生物多様性の喪失、自然資本に関する知識を習得
- ネットゼロ排出戦略の主要要素を理解
- EarthShot Prizeにノミネートされる可能性のある独自のプロジェクトに取り組む



Climate Lab X and The Earthshot Prize

アースショット賞は、1962年にジョン・F・ケネディ大統領が提唱した「ムーンショット」構想に着想を得て、2020年に英国のウィリアム王子によって創設されました。この賞は、世界の深刻な環境問題に対する革新的な解決策を見出し、それを広めることを目的としています。

Climate Lab X は、アースショット賞の5つのカテゴリーに基づいたプログラムを提供しており、企業内起業家が環境問題に対する独自の解決策を生み出し、企業のグリーントランスフォーメーション（GX）を促進することを支援します。優れたアイデアは、アースショット賞にノミネートされる可能性もあります。

Climate Lab X を主催する **PDIEグループ** は、アースショット賞の公式トップノミネーターの一つとして、環境ソリューションの発掘と支援に取り組んでいます。

Earthshot Prize: Our Five Earthshots!



**PROTECT
AND RESTORE
NATURE**



**BUILD A
WASTE-FREE
WORLD**



**REVIVE OUR
OCEANS**



**CLEAN OUR
AIR**



**FIX OUR
CLIMATE**

プログラム・スケジュール



2026

特記事項

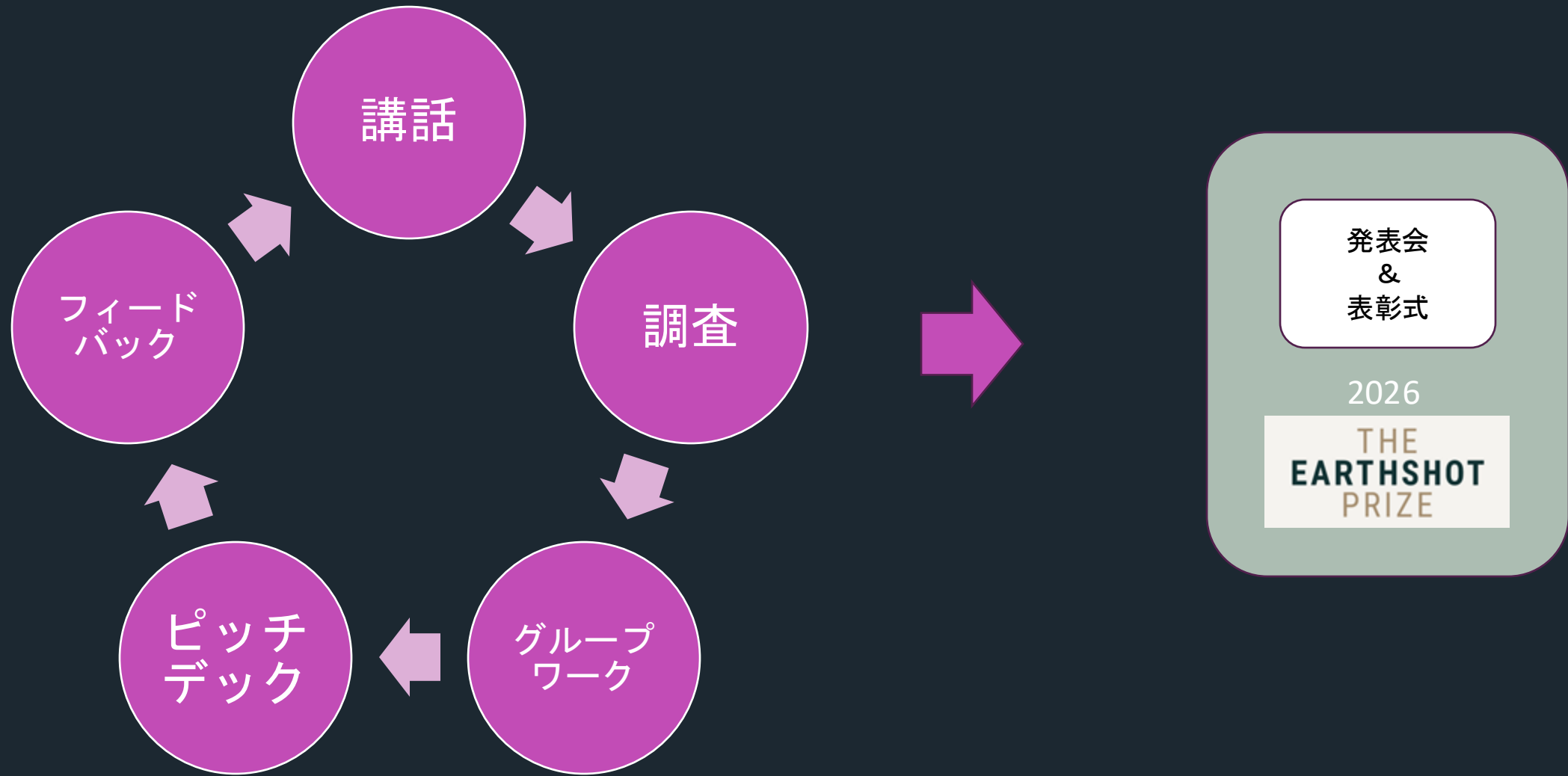
- 約3ヶ月、合計6回のプログラム
- 対面とオンラインセッションを効率的に組み合わせる
- セッションとセッションの合間には各グループの自主性を重んじた活動を奨励する
- 最終日は発表会 & 表彰式を行う

THE
EARTHSHOT
PRIZE

プログラムの構造



プログラムのメソドロジー



Climate Lab X 主催者 & 後援

主催：一般社団法人PDIE Group

後援：京大オリジナル株式会社



創業者 & 代表理事
シュミッツ・クリスチャン



理事
寺田 裕一



ソリューションデザイン部
部長 川村健太

基調講演・テーマ毎のスピーカー

基調講演



Chris Large, アースショット
プライズ、ディレクター



宇佐美 誠教授
京都大学、地球環境政策論

海の再生



Dr. Constantin Marakhov,
キデミス



Brian Tsuyoshi Takeda,
アーテノミックス

自然保護と回復



Valter Ziantoni,
プレタテラ



Drea Burbank,
サヴィンボ

気候の回復



Jens Bischoff,
エナプター



Talal Hasan,
44.01



Marie Cipolli-Rameau,
クライムワークス

大気の浄化



Gunnlaugur Erlendsson,
エンゾータイヤズ



Vidyut Mohan,
タカチャー

廃棄物のない世界



Line Kloster Pedersen,
ビジビルト



Luke Haverhals,
NFW

*一部調整中。時間によってはビデオ視聴になる可能性があります。

京都大学からの教員

基調講演



宇佐美 誠

京都大学大学院 地球環境学堂
教授

専門は、法哲学・政治哲学・法政策論。ハーヴァード大学客員研究員・東京工業大学教授等を経て、現職。分配的正義の理論分析を進める傍ら、その応用問題である気候正義・グローバル正義・世代間正義等を論じている。



齋藤 敬

京都大学大学院 総合生存学館
教授

マサチューセッツ大学のグリーンケミストリー研究所でグリーンケミストリーの創始者(Prof. John Warner)の下、研究に従事。創始者の下で学びそれを国際的に発展させてきたグリーンケミストリー専門家。2020年10月より現職。

審査員



山田 仁一郎

京都大学経営管理大学院
教授

中央大学商学部会計学科卒業、北海道大学大学院経済学研究科修了(博士・経営学)、大阪市立大学大学院経営学研究科教授等を経て、現職。現在、日本ベンチャー学会副会長、組織学会理事、企業家研究フォーラム理事等。

Pitch Deck (発表資料)

1

タイトル
Title Slide

2

課題
The Problem

3

解決策
The Solution
(Product & Service)

4

ビジネスモデル
Business Model

5

市場&顧客
Market & Customer

6

利益計画
Financials

7

気候や自然への影響
Climate Impact

8

創業者の夢&チーム
Founder's Dream & Team

京大オリジナル株式会社

Kyoto University Original Co., Ltd.

Let's Co-Create a Better Tomorrow!



PDIE

Purpose Driven Innovation